

WX5とVL70-mの接続・設定方法

～リード付[サックスタイプ]（タイトリップ奏法）を使用する場合の設定について～

Chapter1:準備編

1. VL70-mの接続準備を確認する。

VL70-m に付属の AC アダプター（PA-3C）を DC IN 端子につないでから電源コンセントに接続してください。また、HOST SELECT（ホストセレクト）スイッチを MIDI に設定してください。



2. WX5の接続準備を確認する。

「マウスピースの選択」

工場出荷時にはリード付き[サックスタイプ]のマウスピースが装着されていますので、そのまま使用します。

リード付[サックスタイプ]



付属のリード[リコーダタイプ]に付け替えれば、リコーダーと同じ奏法で吹くことができます。その際は、ディップスイッチ設定で「ルーズリップ奏法」に設定する必要があります。詳しくは FAQ：11 を参照してください。

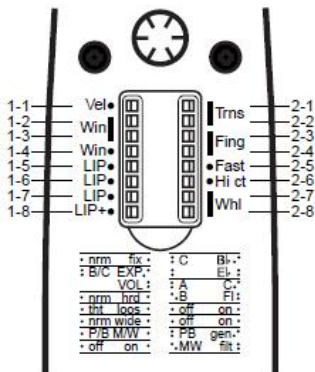
リードなし[リコーダタイプ]



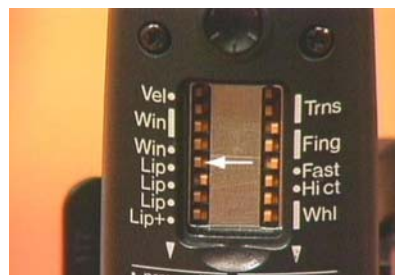
「ディップスイッチの設定」

工場出荷時はディップスイッチがすべて左側（設定値「OFF」）に設定されていますので、そのままの設定で使用します。既にディップスイッチ設定を変更している場合は、下記方法で設定を変更してください。

WX5 のディップスイッチ設定を行なうには、ゴム製のフタを開けます。



ディップスイッチ設定

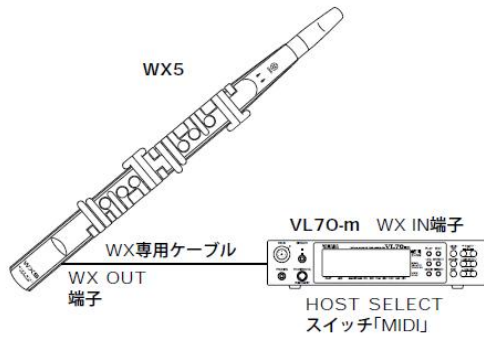


SW1-5 (Lip) は左側（設定値「OFF」）にしてタイトリップ奏法に設定

ドライバーなどを使ってディップスイッチをすべて左側（設定値「OFF」）に動かします。

3. WX5とVL70-mの接続を確認する。

WX5とVL70-mの接続には、WX5に付属のWX専用ケーブルを使用してWX5のWX OUT端子とVL70-mのWX IN端子を接続します。



※この接続では、VL70-m から WX5 に電源が供給されますので、WX5 に別売の電源アダプターや乾電池（単 4 乾電池×6）を使う必要はありません。

モニタースピーカーまたはヘッドフォンの接続

VL70-m の再生音を出力するには、モニタースピーカーなどを VL70-m リアパネルの OUT PUT (アウトプット) 端子に接続してください。ヘッドフォンを使用する場合には、VL70-m フロントパネルの PHONES (ヘッドフォン) 端子に接続してください。

4. WX5 と VL70-m の電源 ON

VL70-m の POWER/VOL (パワー/ボリューム) つまみを押して電源をオンにします。続いて WX5 の電源スイッチ (POWER ON/OFF) をオンにします。次に VL70-m の POWER/VOL (パワー/ボリューム) つまみを時計方向に回して音量を調節します。

PLAY (プレイ) ボタンを押してプレイモードにした状態で PLAY (プレイ) ボタンを押すと押している間、選択されている音色を試聴することができますので、音量の調整を行なってください。

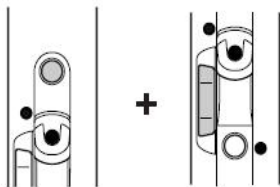
音がモニタースピーカーまたはヘッドフォンから鳴れば、VL70-m が正常に動作していることを確認できます。



5. VL70-m のプレスモード設定

BREATH (ブレス) ボタンを押します。SELECT ボタン「<」「>」で Breath Mode (ブレスモード) を選択します。VALUE ボタン「-」「+」で「=BC/WX」に設定します。

☆ ここで、WX5 と VL70-m の接続が正しく接続されているか「WX5 のオーディション機能」を使用して確認をします。
WX5 のオーディション機能のオン/オフ設定



[セットアップボタン] + [ピッチバンドホイール]

WX5 のセットアップボタンを押しながらピッチバンドホイールを回すと、オーディション機能がオンになり、ピッチバンドを回すだけで音が出るようになります。音がモニタースピーカーまたはヘッドフォンから鳴れば、WX5 と VL70-m が正しく接続されていることを確認できます。

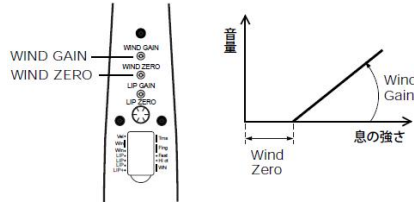
もう一度セットアップボタンを押してオーディション機能をオフにします。

これで WX5 と VL70-m の接続準備が終了しました。WX5 を吹いて演奏をお楽しみ頂けます。もし WX5 を吹いても音が出ない場合や、息の吹き込み加減が自分に合わない場合は、引き続き WX5 のウィンドセンサーの調整を行ってください。

Chapter2:演奏をしやすくするための設定編

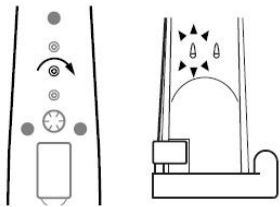
1. WX5のウィンドセンサーの調整

ウィンドセンサーの調整とは、吹いた息の強さに対する感度（WIND GAIN）とどの位の強さで吹くと音が出るか（WIND ZERO）を調整するための設定です。

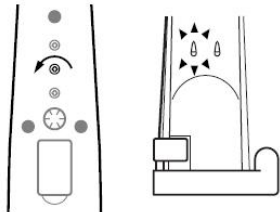


- ・ WIND GAIN 吹いた息の強さに対する感度を調整
- ・ WIND ZERO どの位の強さで吹くと音が出るかを調整

小型のドライバーを使って、WIND ZEROを息を吹き込まなくても音が出る位置まで右方向に回します。その際、LED2が点灯します。

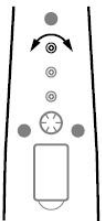


音が出たら、今度はWIND ZEROを左方向にゆっくり回します。LED2が消灯して音が消える位置まで回します。



息をWX5に吹き込み、どの位の息の強さで音が鳴るか確認します。好みの強さで音が鳴るように上記手順を繰り返します。息をWX5に吹き込んだときに音が小さい場合は、VL70-mのPOWER/VOL（パワー/ボリューム）つまみを時計方向に回して音量を調節します。

小型のドライバーを使って、WIND GAINを回して好みの感度に調整します。右に回すと感度が鋭く、左に回すと感度が鈍くなります。息をWX5に吹き込み、好みの感度になるように調整します。



WIND GAINを調整すると、WIND ZEROも多少変化します。上記手順を繰り返して、自分のフィーリングに合うよう調整してください。

※LED2 が点灯する点と消灯する点のギリギリに設定をしておく、息を少し入れただけでも音が出ます。逆に左方向に大きく回している場合、息を強く吹き込まないと音が出ません。極端に左に回している場合は吹いても音が出ない事があります。

2. リップセンサーの調整「タイトリップ奏法」

リップセンサーの調整「タイトリップ奏法」については、FAQ:Q20 をご参照ください。